

幼稚園・保育所等における効果的な家庭教育支援を研究・実践

～「親の学び」状況調査事業～

社会教育課



各学校におかれましては、日頃より、くまもと「親の学び」プログラムをはじめとする家庭教育を支援する施策にお取り組みいただいております。本年度も、すべての学校において、保護者の皆さんに、「親としての学びを支援する学習機会」を提供していただきますようお願いいたします。

さて、県教育委員会では、「くまもと家庭教育支援条例(第17条)」に基づき、家庭教育の入り口である幼稚園・保育所等における家庭教育支援の充実を図るため、モデル園を指定して、効果的な支援方法の研究・実践に取り組んでいます。モデル園は、益城幼稚園(益城町)、画図幼稚園(熊本市)、菊池幼楽園(菊池市)の3園です。各モデル園では、くまもと「親の学び」プログラムを活用した講座を、園の状況に応じて実施し、保護者の皆さんに「親としての学びを支援する学習機会」の提供を行っています。



モデル園における「親の学び」講座の実施状況

益城幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ○後援会総会や教育講演会で保護者全体を対象に実施 ○複数の保育参観日に、クラス毎に実施 ○後援会役員、職員を対象に実施
画図幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ○毎月1回 定期講座として、参加希望者を対象に実施 ○職員を対象に実施
菊池幼楽園	<ul style="list-style-type: none"> ○保育参観日に、複数の進行役でクラス毎に一斉に実施 ○職員を対象に実施

各園で実施した事前アンケートの結果等を基に、以下のようなテーマで講座を実施しています。



県教委作成の啓発チラシを使い、大切にしたい生活習慣や子どもの成長と生活リズムとの関係について学びます。



乳幼児期におけるスマホやタブレットの使用が子どもの成長に及ぼす影響について、「愛着」をキーワードに学びます。



場面絵から、子どもの行動や気持ちをいろいろな角度から考え、よりよい親子の関わりについて学びます。

その他、「わが家で大切にしたいこと」、「ここにこパクわが家の食事」、「親の学びプログラムと家庭教育支援(※職員研修)」、「後援会の役割3か条(※役員研修)」等、多数のプログラムを実施しています。

また、専門家による調査委員会を設置し、幼稚園・保育所等における効果的な家庭教育支援について研究し、モデル園での実践に活かしています。

今後は、本事業の成果をリーフレットにまとめ、県内のすべての幼稚園・保育所等及び関係機関に提供いたします。



親の意識で子どもが変わることに、気づかされました。

家族で、子どもの伸ばしたいところや子どもに何が必要かについて考えるよい機会になりました。

各学校におかれましても、「家庭教育支援条例」の周知や「くまもと「親の学び」プログラム」の活用を、引き続きよろしくお願いいたします。